

大阪医療技術学園専門学校  
東洋医療技術教員養成学科

講義ノート

臟腑学説〔基本概念〕(簡略解説)

奈良上眞

参考文献 吳敦序 主編: 中医基礎理論, 上海科学技術出版社, 1995, 中国上海.

# 臓腑の基本概念

臓腑

内臓の総称

臓腑の生理機能の特徴から  
臓・腑・奇恒之腑

五臓

臓：肝・心・脾・肺・腎

六腑

腑：胆・小腸・胃・大腸・膀胱・三焦

奇恒之腑

脳・髓・骨・脈・胆・女子胞

## 臓腑の基本概念

臓

精気の化生と貯蔵する内臓

腑

受盛と水穀の傳化(伝化)の内臓  
(水穀:水穀精微と糟粕を含む)

### 臓と腑の区別について

臓:精気を貯蔵する。

(例;肝藏血・腎藏精

精血を藏す→外泄しない→保持充満する。)

腑:水穀を傳化する。

(例;胃で水穀を受納→消化→小腸へ傳入→消化→  
大腸へ傳入→大腸で糟粕の水分の残余を吸収  
→肛門から排泄。)

# 臓腑の基本概念

## 臓象について

臓：体内の内臓を指す。

象：体外に発現する生理現象と病理現象。

臓象：体内に藏する内臓が体外に発現する生理現象と病理現象。

例；体内の肺臓→臓。

呼吸→肺の体外に発現する生理機能。

咳嗽・気喘→肺の体外に発現する病理現象。